



(本田建築作業場)

ものづくりマイスター派遣先

山野工務店 他

〒861-1331 熊本県菊池市隈府 1507-12

概要

(H28.7 取材当時)

代表者 山野 幸一

事業内容 エクステリア工事、住宅建設、建築工事、
木造建築工事、屋根工事、リフォーム

設立 昭和44年4月

従業員数 3名



若い人たちの技能の底上げと 短時間で理解できることを期待して

「ものづくりマイスター制度」については建築組合を通じて知りました。若い人たちの技能の底上げのために、それとできるだけ短時間で達成させたいと思い、ものづくりマイスターの派遣要請をしました。私としては、これまで10年、15年かかっていたものが数週間で分かるとか、数字で分かることができるようになればありがたいと考えていました。また、同業他社と合同で本田建築の作業場をお借りして、受講できたことも助かりました。



本田マイスターの指導の様子

カリキュラム

期 間	平成27年6月～11月
実施場所	本田建築
受講者数	10名(山野工務店他5社)

	指導日	指導内容		指導日	指導内容
1	6/17	基礎学習、テスト	11	9/9	側面図の作成
2	6/24	勾配、勾当玄、三角関数	12	9/16	展開図の作成
3	7/1	勾配、勾当玄、三角関数	13	9/30	展開図の作成
4	7/8	平面図の作成	14	10/7	展開図の作成
5	7/22	平面図の作成	15	10/14	展開図の作成
6	7/29	平面図の作成	16	10/21	展開図の作成
7	8/5	平面図の作成	17	10/28	展開図の作成
8	8/19	振れ隅木の計算	18	11/4	木ごしらえ
9	8/26	振れ隅木の計算	19	11/11	木ごしらえ
10	9/2	側面図の作成	20	11/18	木ごしらえ

指導に当たって事前にどの辺りのレベルに設定するかのすり合わせが必要

● ● ● はじめはボランティアで指導

「ものづくりマイスター制度」ができる前は、私自身が工務店の子弟を4～5人集めて、ボランティアで月に1回くらい指導をしていました。半年くらいたったときに、地域技能振興コーナーから、まずものづくりマイスターの資格を取って、「ものづくりマイスター制度」を利用して教えるようにしてはどうかと言われました。

私の教えたうちの4人が1級の技能検定に合格しました。これがきっかけで、私のところは熱心に教えてくれるといううわさが広がりました。

● ● ● 受講者それぞれの持っている力に合わせた指導

受講者をよく見て、毎回の受講する様子を見ながら、この受講者は1級よりももっと上のほうを目指すのではないか、この受講者はなんとか1級のレベルくらいを目指すようにさせたいというように、受講者それぞれの持っている力に合わせた指導を考えました。

受講者は皆、工務店で経験者で、ある程度の年数を経ている人ばかりでした。ですから、基礎的なことは習得しているものとばかり思っていました。しかし、実際には違って、プレハブの組立工法に慣れていただけで、大工仕事の基本ができていませんでした。そこで、受講者一人ひとりの力に応じて教え方を工夫するようになりました。

● ● ● 教えることで自分自身も勉強になった

教え方というのは難しいものだとつくづく実感しま

した。相手が分かるように、納得できるように指導することが大事ですが、そのためには相手の能力をよく見極めなければなりません。相手次第で1から10まで段階を踏んで順序良く説明しなければならない場合や、1から15まで途中を飛ばしながらでもどんどん上に進める場合もある、ということを知りました。その意味で私自身も大変勉強になりました。

● ● ● 「勾芻玄」の理屈を計算させて理解してもらう

昔からある大工の技に規矩術きくじゆつというものがあります。この規矩術の一種で勾芻玄こうこげんと呼ばれるものがあります。これは、差し金を使って自由自在に複数の勾配や角度を割り出すことができる昔からの大工の技法です。

勾芻玄には「中勾」とか「欠勾」といろいろあるのですが、この場所は、差し金をこのように使えば、勾芻玄によって角度がこのように出てくるというようになっています。勾芻玄だけを教えても、なぜそうなるかは分からないです。しかし、私は、手前から順番に計算して答えを出させると、勾芻玄のとおりになることを教えます。つまり、結果だけではなく、途中の計算について教えると、理屈が分かるようになります。



ものづくりマイスター
本田 壽廣 (ほんだ としひろ)

昭和23年1月22日生まれ
昭和54年度 1級技能士 建築大工(大工工事作業)取得
平成25年度 厚生労働省ものづくりマイスター(建築大工)認定

受講する側での制度を有効に活用できる 環境づくりが大切



山野 幸一 社長

● ● ● 数値化により合理的で圧倒的に 短時間で指導

昔の棟梁や親方は、弟子を育てるために、仕事は見て覚えろ、技は見て盗めなどと言って育ててきました。いってみれば理屈や理由がどうという以前に、仕事や技をそのものとしてのみ込んで、身につけるしかありませんでした。しかし、本田マイスターの場合は、言葉で表現できないことを数値化してくれるので、合理的で圧倒的に短時間で理解できるように教えてくれます。

● ● ● 受講者のレベルはまちまちだが、 少しでも底上げしたい

「ものづくりマイスター制度」導入に際して内部調整はなかなか苦労しました。というのは、受講者のレベルが同じではなかったからです。受講者は皆、是非ともものづくりマイスターの指導を受けたいと思っていたのですが、年齢や技術のレベルの差がまちまちでした。この点は、本田マイスター自身も苦労されたところだと思います。しかし、会社としては、少しでも従業員の技術レベルを上げていくことが、お客様に信頼されることにつながりますので、一生懸命に取り組んでほしいと思って「ものづくりマイスター制度」を導入しました。

● ● ● 技能の底上げの時間がものすごく 短縮された

「ものづくりマイスター制度」のメリットとして今回一番感じたことは、時間の短縮でした。つまり、技能の底上げの時間がものすごく短縮されたのです。時間＝費用というところがありますが、いつまでも一人前になれなければ、一人前の仕事も与えられず、売上げにも影響してきます。

● ● ● 受講した者全員の意識、責任感が 格段に強くなったことは確か

本田マイスターはすごい技術を持っている方で、雲の上のような存在ですが、遠慮なく派遣してもらおうと良いです。来てもらえなかったら、こちらから押しかけて行きたいくらいです。それくらい大きな価値があります。受講した者全員の意識、責任感が格段に強くなったことは確かです。もっと上を知りたい、深く知りたいと思う向上心も芽生えてきたと思います。

これからこの「ものづくりマイスター制度」を利用しようとする会社では、受講する体制と環境を作っておけば十分ではないでしょうか。制度を有効に活用できる環境づくりをきちんとしておけば良いと思います。



作業風景

受講者の声

大工仕事を通じて三角関数とピタゴラスの定理を習得

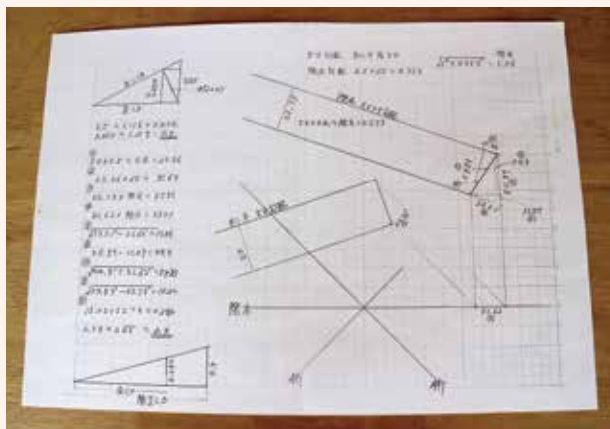
あいまいなものを数字と言葉で指導

自分自身も、近いうちに技能検定を受けたいと考えていました。技能検定課題を活用して基礎技能について、ものづくりマイスターが指導をしてくれることを知り、とにかく挑戦したいという気持ちが一杯でした。

本田マイスターは、私たちがこれまであいまいに理解していたところやあいまいに受け止めていたところを、きちんと数字と言葉で分かりやすく指導してくれたところがすごいと思いました。技術的な指導もそうでしたが、頭の中で理解させること、つまり理論的に教えてくれることが、とても上手でした。また、答えだけでなく、途中の経過、なぜこのような答えが出るのか、その道筋をよく教えてくれました。

本田マイスターは数学の先生のような感じ

大工の技に規矩術の一種で勾股玄と呼ばれるもの



勾股玄の根拠を計算式で証明



岩下 剛士さん

があります。いってみれば、三角関数、ピタゴラスの定理と同じものです。本田マイスターは、この勾股玄と呼ばれる技を、完全にマスターできるように指導してくれました。

昔の親方は、この答えとなる結果を教えてくれるだけだったそうですが、本田マイスターの場合は、図を描いて、途中の計算まできちんと教えてくれるのです。まるで数学の先生のような感じですよ。大工さんの場合は、プライドが高いせいか、なかなか細部についてまで教えてくれませんが、本田マイスターは出し惜しみすることなくすべて教えてくれます。

ものづくりマイスター制度はできるだけ早いうちから利用すべき

きちんとした体制で利用できるのであれば、できるだけ早いうちから「ものづくりマイスター制度」を利用すべきだと思います。仕事が丁寧に行えるようになったり、志が高くなるように思います。

地域技能振興コーナー担当者より

「ものづくりマイスター制度」は、会社組織で活用されるケースは多いのですが、個人経営・家族経営をされているところではあまり活用されていないのが実情です。

今回のような例を大いにPRして、これから私たちコーディネーターは、よりきめ細かな普及活動に努めていく必要があると感じています。